

一般財団法人 有本積善社 第 31 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和元年 9 月 26 日（木）16：00～16：50
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数：7 名
出席委員数：4 名
出席委員の氏名：水嶋純作、山内茂樹、楠 崇智、山下美晴（メールコメント者含む）
欠席委員の氏名：尾関善之、今安博和、松井恭子、
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二
放送局長 中西 進
制作チーフ 上田秀篤
制作スタッフ 奥野あかり

4 議題

(1) 「舞鶴引き揚げの日 メモリアルラジオ」

2019 年 9 月 13 日（金）9:06～9：26 放送 の審議

(2) 報告事項

- 7/28（日）18:30～20:40 に第 44 回みなと舞鶴ちゃったまつり花火大会を生中継放送した。
- 9/2（月）から朝の番組「まいづるモーニングブリーズ」内で舞鶴市内の道路交通情報の放送を開始した。現在、7:33 頃、7:55 頃、8:30 頃であるが、10 月からは 8:15 頃も追加する予定。また、10 月からは月～木の 18:52 のニュースの時間を 1 分長くして 18:56 までとし、ニュースと道路交通情報を放送する予定。
- 前項に関連して、現在、朝の番組は月～木は 7:33 頃から、金曜日は 7:55 から始まっているが、10/1（火）からは月～金曜日とも 7:33 頃から開始とする予定。東京 J-WAVE の番組から舞鶴ローカルに切り替えるため、J-WAVE の番組の流れにより開始時刻は多少前後する。
- 5/2（木）の「令和改元・FM まいづる開局 3 周年記念 海の京都 吹奏楽フェスタ」に続き、9/7・8（土・日）に「第 2 回 海の京都 吹奏楽フェスタ」を赤れんがパークで開催した（ハッピーフェスタ 2019 枠の 1 つのイベント）。後日、特別番組で収録放送する予定。また、「第 3 回 海の京都 吹奏楽フェスタ」を、11/23（土）西市民プラザの文化祭で 1 階ホールにて開催する予定。
- 9/17（火）朝の Bayside Morning Kyoto の番組内で 10:30～10:45 まで、Café & Bar FLAT+から生中継を行った。京都府立大学が地域で活躍する人材を育成するための「地域創生 COC+教育プログラム」の一環として、府立大生 2 名が一日店長を務め、当人達から情報発信を行ったもの。府立大学が番組提供した。
- 10/27（日）に行われる舞鶴市の防災総合訓練を会場の自衛隊教育隊から生中継する予定。これには舞鶴アマチュア無線クラブの協力を得て情報収集訓練も行う予定。
- 新パーソナリティ候補 1 名への研修を 9 月から開始し、全 7 回のうち 2 回終了した。

5 議事の概要

- 上記（２）項の報告内容を審議委員に説明。
- 上記（１）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する審議委員の主な意見】

審議番組は、昨年、舞鶴市で条例制定された「10/7 舞鶴引き揚げの日」を広く周知するために「舞鶴引揚記念館」の企画・提供で制作したものである。

司会 FM まいづるパーソナリティ
ゲスト (A) 引揚記念館職員
(B) 民間団体 舞鶴引揚記念碑を守る会 2名
(C) 民間団体 PAUネット 1名

- 舞鶴の引き揚げの歴史を、特に若い市民に知ってもらうには良い企画・内容である。
- 舞鶴の歴史を知る番組が他にもあるとよいし、京都市内にも流れる機会があるとよい。
- 内容的には少し固い感じがしたが、全体的には特に問題となるようなことは無かったと思う
- 限られた時間の中で、たくさんの方の話がテーマに添って分かりやすく、整理されている印象である。
- ゲストの慣れないところは、パーソナリティーが、自然とフォローされ、話の内容が分かりやすく伝わっている。
- そのものの番組のカラー、樹、中心、コンセプトというのがわかりにくい。引き揚げの場所が舞鶴にあり、平和を希求するというのが中心にあり前面に出ると、史実も今の活動のはなしにも繋がる。
- 引き揚げにかかわった人々の話しと今の活動を混ぜて話すと、史実と今の活動に関連はあっても聴いている人にはわかりにくい。
- 番組の大きな柱としてとして「引き揚げの歴史」の説明と民間団体による「現在の活動」の紹介があったと思うが、冒頭で司会者が「引き揚げの歴史」を説明してしまったのは、あまり良くない。司会者は番組の進行に徹し、その説明は専門の引揚記念館職員に任じた方がよかった。
- 司会者は何も知らない体で、ゲストに聞くようにしたほうがよい。ゲストは時間を割いて来ているのだからゲストの出番を多くしたほうがよい。
- 「引き揚げの日」をどのように活用していくのか、というところが番組ではわかりにくかった。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を企画者側にフィードバックし、今後の引揚記念館のラジオ媒体による広報活動の参考としてもらうことにした。（令和元年10月5日）。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- (1) 令和元年10月9日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- (2) 令和元年10月9日 この審議会議事概要をホームページに掲載。

9 その他の参考事項

特になし

以上